

官報

號外

明治三十一年六月二日

木曜日 內閣官報局

第十二回 貴族院議事速記録第十號

明治三十一年六月一日(水曜日)午前十時十四分開議

議事日程 第十號 明治三十一年六月一日

午前十時開議

第一 船舶法案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員)

第二 北海道官設鐵道會計ニ關スル法律

第一讀會ノ續(特別委員)

第三 軍機保護法案(政府提出)

第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第五 香川縣下郡廢置法案(議院送付)

第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第七 廣島縣下郡廢置法案(議院送付)

第一讀會

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第九 登錄稅法中改正法律案(議院送付)

第一讀會

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告致シマス

(小原書記官朗讀)

昨三十一日本院ニ於テ可決シタル政府提出明治三十一年度歲入歲出總豫算追加案第二號ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及ヒ可決ノ旨衆議院ニ通知シタリ

同日本院ニ於テ修正議決シタル政府提出國籍法案ハ即日衆議院ニ送付シタリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領シタリ

明治二十九年年度豫備金支出ノ件

明治二十九年年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算外支出ノ件

明治二十九年年度特別會計豫備金支出ノ件

明治二十九年年度特別會計歲入及資金ヲ以テ豫算超過支出ノ件

同日衆議院提出明治三十年法律第三十九號中追加法律案ヲ受領シタリ

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル政府提出明治六年第三百三號布告改正法律案ヲ可決奏上シタル旨通牒ヲ受領シタリ

各委員長及副委員長左ノ通常選セラレタリ

水害地方地租特別處分法案特別委員會

委員長 侯爵久我 通久君 副委員長 子爵林 友幸君

保安條例廢止法律案特別委員會

委員長 侯爵細川 護成君 副委員長 男爵渡邊 清君

市制中東京市京都市大阪市ニ於ケル特例廢止法律案外一件特別委員會

委員長 男爵安場 保和君 副委員長 富田鐵之助君

傳染病院等ノ敷地地租免除ニ關スル法律案特別委員會

委員長 公爵二條 基弘君 副委員長 伯爵清棲 家教君

臺灣銀行法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵谷 干城君 副委員長 成川 尙義君

○議長(公爵近衛篤磨君) 昨日御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道イタシマス

(中根書記官朗讀)

一圓銀貨引換ニ關スル法律案外一件特別委員

子爵鍋島 直彬君 子爵仙石 政固君 子爵永井 尙敏君

男爵小澤 武雄君 男爵本多 副元君 南郷 茂光君

平山 成信君 長谷川 貞雄君 熱海孫十郎君

特別輸出港輸出物品指定ニ關スル法律案特別委員

伯爵萬里小路通房君 子爵久世 通章君 子爵京極 高典君

津田 眞道君 男爵神山 郡廉君 岡内 重俊君

男爵高崎 安彦君 小原 重哉君 山田 卓介君

集會及政社法改正法律案特別委員

子爵曾我 祐準君 子爵鳥居 忠文君 子爵小笠原 壽長君

子爵梅小路 定行君 男爵本田 親雄君 籠手田 安定君

名村 退藏君 男爵園田 安賢君 久保田 讓君

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス

○子爵谷干城君 議長

○議長(公爵近衛篤磨君) 谷子爵ハ何デスカ

○子爵谷干城君 少シ會議ノ前ニ當ッテ一言述べテ置キタイコトガゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○子爵谷干城君 極ク單簡デゴザイマスカラ是デ述ベテ宜シウゴザイマス
○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○子爵谷干城君 過日會計検査院ノコトニ就キマシテ本員ヨリ兩條ノ質問ヲ政府ヘ提出致シマシテ昨日即チ其答辯書モ出マスルシ且ツ總理大臣モワザリザ出場ニナリマシテ演說ヲセラレマシテゴザイマス、其趣旨タルヤ明ニハ申サレマセヌケレドモ全體ノ所ニ就イテ考ヘマスレバ現政府ニ於テハ必ズ検査院ノ處分ヲ相當ノコト、ハ認メヌト云フ意味ガ明ニ見エテ居ル、ソレハ何トナレバ既往ノコトハ仕方ハナイガ今後ヲ制スルコト云フ法案ハ此後ニ提出スルト云フコトヲ明言セラレタ、其一言ヲ以テ即チ明ナコト、考ヘルノデアリマス、然ラバ兼テ本員ガ質問ノ理由ヲ述ベマスル際ニ當テ政府ノ答ニ依ッテハ別ニ成案ガアルト云フコトヲ豫言ヲシテ置キマシテゴザイマスガ是ハ若シ政府ガドコノマデモ検査院ノ處置ヲ是認スルト見タラバ已ミヲ得ズ最終ノ手段ヲ執ルト云フノ考デアリマシタケレドモ昨日ノ總理大臣ノ演說ヲ承リマスルト最早最終ノ手段ヲ執ル必要ハナイト考ヘマスルカラツレダケノコトヲ申上ゲテ置キタイト存ジマスルデ議員諸君ノ中ニハ最終手段マデ御賛成下サレテ居ル御方モアリマシテゴザイマスカラツレダケノコトヲ申述テ置キタイト存ジマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、第一、船舶法案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル)

○子爵鍋島直彬君 船舶法案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告ニ及ビマス、其御報告ヲ致シマスル前ニ諸君ニ申上ゲマスコトガゴザイマス、政府ヨリ本案ノ一箇所ニ附イテ正誤ガ申シテ參ッテ居リマス、其正誤ハ附則ト申ス所ノ第三十條ノ所デゴザイマス、此三十條ニ「明治三年第二十七號布告」第二十七號ト云フノガ誤デアリマシテ其正誤ニ「明治三年正月二十七日布告郵船商船規則」斯ウナルノデゴザイマス、明治三年正月二十七日布告郵船商船規則ト斯ウ明治三年第二十七號布告ト云フノガ唯今申シタヤウニ正誤ニナリマシタ、此法案ノ委員會ハ先月二十八日ニ始テ開キマシテ三十日ニ又再ビ開キマシテ議シ了リマシタノデゴザイマス、固ヨリ此法案提出ノ大體ニ附キマシテハ委員會中一人モ異議ハゴザイマセヌ、併ナガラ此委員ニハ最モ此船舶ノ事ニ詳シイ方々ガ多數デゴザイマシテ餘程質問モ細カニゴザイマシタシ、從ッテ議論モ段々ゴザイマシタ、修正ノ意見モ二三箇所ゴザイマシタガ遂ニ諸君ノ御手許ニ配付ニナツテ居リマス所ノ即チ第三條ノ中ノ一箇所ヲ修正スルト云フコトニ詰リナリマシタノデゴザイマス、其修正ノ理由ハ即チ第三條ノ「但」ノ

下ニ「法律若クハ」ト云フ文字ガ加ルノデ、此三條ハ一讀會ノ初ニモ餘程疑問ガ多ウゴザイマシテ分リ憎イ大分ムヅカシイ條デアッタ、ドウモ此原案ノ儘デアリマスルト、日本船舶デナケレバ不開港場ニ寄港スルコトモ出來ナイ、又ハ日本各港間ニ物品又ハ旅客ノ運送ヲ爲スコトモ決シテ出來ナイ、其下ニ取除ガ三ツニ區分シテ出テ居リマスルガ、扱此特別輸出港規則、明治二十二年ニ出テ居リマス法律、アノ規則ニ依ッテ數箇所ニ特別輸出港ト云フモノヲ定メラレテ其特別輸出港ニハ即チ特別輸出港規則ノ第二條ニ「前條輸出事業ニ使用スル爲メ外國船舶ヲ雇入ントスルトキハ大藏大臣ニ願ッテ免狀ヲ得テ外國船舶ヲ雇入レテ特別輸出港デ指定シタル所ノ物品ヲ凡テ船積ヲシテ居ルノデアリマス、然ルニ第三條ヲ見マスルト、特別輸出港ハ開港場ト見做スヘキモノデハナイ、サウシマス、此第三條ノ不開港場ニ寄港スルコトガ出來ナイ、即チ不開港場ニ寄港シテ船積ヲシテ居ルト云フ現在今日ノ有様ニナツテ居ル、ドウシテモ此特別輸出港ノコトハ此原案ノ但書以下ノ取除ニ這入ル譯ニ參リマセヌ、然ルトキハ此特別輸出港規則ト云フモノハ即チ本案ノ第三十條ニ云フテアル所ノ「其他」ノ法令ニシテ本法ノ規定ニ牴觸スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス」トアル故ニ特別輸出港規則ハ本法ニ牴觸シタト云フ嫌ガアル、斯ウスレバ特別輸出港規則モ本法施行ノ日ヨリ廢止シナケレバナラヌト云フ結果ニナルヤモ知レヌ、是ハ到底出來ナイコトデアリ又爲スベカラザルコトデアアル、ツレデ僅ナ修正デアリマスルケレドモ、此法律若クハト云フコトガ這入リマスルト即チ特別輸出港規則モ此三條ノ取除トナリマシテ此法案ト並ビ行レテ悖ラスト云フコトニナリマス、是ハ僅ニ五文字デハアリマスケレドモ實際上大變關係ガアル、殊ニ外國トノ關係モアル事柄デアツテ是ハ判然ト致シテ置キマセヌト云フト、頗ル一讀會ノ初ニサヘ頻リニ疑問ガ出マシタ位ノコトデゴザイマスカラ之ヲ明ニシテ牴觸杯ノ嫌ノゴザイマセヌヤウニ致シタイト云フ理由デ此法律若クハト云フ文字ヲ入レマシタノデ、其修正ノ大體ノ理由ハ右ノ通デゴザイマシテ、私ノ述べマシタ所デ盡シマセヌコトガゴザイマスレバ尙ホ他ノ委員ノ御方、最モ是等ノコトニ詳シイ御方ガゴザイマスカラサウ云フ方々ヨリ辯明ニナリマス、其他ハ皆原案ノ通ニ決シマシタノデゴザイマス、若シ原案ニ附イテノ御疑等ゴザイマスナラバドウゾ專門タル政府委員ニ御質問ニナルヤウニシタイ

○子爵曾我祐準君 政府委員ニ少シ御尋ヲ致シタウゴザイマスガ本員ハ第一讀會ノ時分ニ確メマセヌデアリマシタカラ一讀會ニ誰カカラ質問サレテ明ニ分ツテ居ルコトカモ知レマセヌガ二三箇條伺ヒタイ、即チ今ノ第三條デアリマスガ法律若クハト云フ修正ニナツタコトハ今ノ委員長ノ報告デ分リマシタガ

本文ノ「條約ニ別段ノ定アルトキ」是ハドウ云フ類ヲ指スノデアアルカ、條約ニ別段ノ定ト云フノハ如何ナルコトガ現在アルカ、是ガ一ツ承リタイ、ソレカラ此唯今ノ三條ト第十九條ト參照シテ見マスルト不開港場ニ寄港シタ船ハ罰セラル、其罰シ方ガ沒收マデ至ルヤウデアリマスガ是ハ讀損ヒカモ知レマセヌガ、サウスルト日本ノ船ニアラザル船ガ開港場デナイ所ヘノソツリ這入ッテ來ルト其罰ハ船ヲ沒收スルマデニ至ルカノ如ク讀マレマスガ果シテサウデアリマスカ、又私ガ誤解デアアルカヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ又同條デ第三條ニ「戰爭」是ハ分リマスガ「其他ノ變亂」ト云フノハドンナモノヲ指スノデアリマスカ、其三箇條御尋致シマス

（政府委員田健治郎君演壇ニ登ル）

○政府委員（田健治郎君） 唯今ノ會我子爵ノ御尋ニ答ヘマス、第一ノ御尋ハ第三條ノ「條約ニ別段ノ定アル」ト云フコトハドウ云フ場合ト云フ御尋ト心得マス、是ハ重ニ此第三條ノ中ニ「又ハ日本各港ノ間ニ物品又ハ旅客ノ運送ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フコトガアル即チ沿海貿易デアリマス、其事ニ付テ條約ガゴザイマスル、其一例ヲ舉ゲテ申上ゲマスルト云フト日英ノ新條約ノ中ノ第十一條ニ「兩締盟國ノ沿海貿易ハ本條約ニ於テ規定スルノ限ニ在ラス各其法律勅令及規則ニ從ヒ之ヲ規定スヘキモノトス」トアリマス、本文ハ斯様デゴザイマスルガツレニ又「然レトモ日本國皇帝陛下ノ版圖内ニ於ケル大不列顛國臣民又ハ大不列顛國皇帝陛下ノ版圖内ニ於ケル日本國臣民ハ此事項ニ關シテハ各右法律勅令及規則ヲ以テ他ノ外國臣民或ハ人民ニ許與シ若ハ許與セラルヘキ諸權利ヲ享有スヘキモノトス」ト云フコトガゴザイマシテ、……ソレカラ又少シ他ノ條項ガゴザイマスルガ餘リ繁累ニ涉リマスルカヲ姑ク略シテ其一番仕舞ノ但書ニ「日本國政府ハ本條約ノ期限間是迄ノ通り大不列顛國船舶カ帝國ノ現開港場間ニ積荷ヲ運搬スルコトヲ許スコトヲ承諾ス尤大坂新潟及夷港ハ此限ニ在ラス」斯クナッテ居リマス、即チ現在ノ條約ハ日本ノ沿海貿易ニ付テハ外國人ガ特權ヲ持ッテ居リマスル、ソレデ此度改正ニナッテ所ノ新條約ニシテモ今讀上ゲマシタ所ノ但書ヲ以テ矢張り沿海貿易ノ幾部ト云フモノハ外國人ニ許シテアリマスルノデ、其場合ヲ茲デハ指シタモノデゴザイマス、次ハ此第三條ヲ犯シタ結果トシテ十九條ノ罰則ノ御尋ト心得マスルガ是ハ外國船即チ日本船舶ニアラザル船舶ガ不開港場ヘ寄港シ若クハ……少シ違ヒマシタ、此第十九條ハ……第二十條デゴザイマス、第三條ノ罰則ハ……

○子爵會我祐準君 誤リマシタ第二十條デゴザイマス

○政府委員（田健治郎君） 貿易港場ヘ寄港シ若クハ沿海貿易ヲヤッタトキノ罰則デゴザイマスガ、是ハ即チ密輸入密貿易デゴザイマス、之ヲ防グノ一番大眼目トナッテ居ル箇條デゴザイマシテ即チ不開港場ナリ若クハ沿海貿易ノ

件ヲ犯シタトキニハ船舶ヲ沒收スル、即チ當然ノ刑ヲ科スル上ニ尙ホ船舶ヲ沒收スルト云フコトハ殆ド各國ノ通例ト申シテ宜イヤウニナッテ居リマス、其例ニ依リマシテ沒收ノコトヲ定メタノデアリマス

○子爵會我祐準君 チョットソコヲ伺ヒマスガ寄港ト云フノハ寄港シタバカリデ貿易ヲシタ譯ニナリマスカ、寄港ト云フノハ唯港ニ寄ルト云フバカリデハアリマセヌカ

○政府委員（田健治郎君） 御答ヲ致シマス、此不開港場ニ寄港シト云フノハ無論港ニ寄ルダケデアリマス、港ヘ寄ルダケデ密商ヲヤラナクテモ密商ヲヤルノヲ防グニハ寄港スル丈ケモ許サナイ、犯シタラ罰スル上ニ船ヲ沒收スル斯ウ云フノデゴザイマス、ソレダケデゴザイマス

○子爵會我祐準君 變亂ト云フコトヲ御尋シマシタ、モウ一箇條同ジク第三條ノ……

○政府委員（田健治郎君） 是ハ戰爭其他ノ變亂、變亂ト申スノハ或ハ一揆騷擾、夫等ヲ皆含シテ居リマス

○水野遵君 田君ニ御序ニ一ツ、私モ矢張り第三條デゴザイマス、第一讀會ノトキニ伺ヒ落シマシタ、是ハ大問題デアリマスルガ此日本各港ノ間ニ於テ物品ノ輸送云々ト云フノハ海岸貿易ヲ禁ズルト云フノハ是ハ御尤デ、サウアラヌケレバナラヌノデゴザイマスガ現今ノ有様ハ矢張實際ハ禁シテ居ルノデゴザイマセウカ、ソコデ禁シテ居ルケレドモ上海ヲ出テ亞米利加ヘ行クニハ長崎ヘ寄ッテ長崎デ貨物ヲ積ムデ神戸ヘ卸シ神戸デ又積ンデ橫濱ヘ揚ゲルト云フコト丈ケハ現今デハ許シテ居ル、將來ハソレモ許サスト云フコトニナラウト思ヒマス、ソレヲ一ツ、夫カラモウ一ツハ臺灣デス、臺灣ノ打狗カラ砂糖船ガ今デモ始終出ル、是ハ全ク砂糖ヲ打狗デ積ンデ橫濱デ積ム、現今米ヲ出スニハ日本ノ船ニハ積マヌデ英吉利ノ船ニ積ンデ神戸ニ出スト云フコトニナッテ居ル、法律ガ施行ニナルト云フト此法律ニ據ッテ禁ゼラル、コトニナルノデアリマスカ、其點ヲ一ツ承リタウゴザイマス

○政府委員（田健治郎君） 唯今ノ水野君ノ御質疑ニ御答ヲ致シマスガ沿海貿易ノ事ハ今日デハ詰リ禁ゼラレテ居ルノデアリマスルガ條約國ノ中ニ依リマシテハ即チ既得權ニナッテ沿海貿易ノ權ヲ得テ居ル所ガアリマス、今會我子爵ノ御尋ニ依ッテ答ヘタ日英條約ノ第十一條ガ矢張ソレデアリマス、ソレデ此最惠條款ニ依ッテ此條約ニ均霑スル權利ヲ有ッテ居ル諸國ハ無論矢張ソレダケノ利益ニ均霑スルカラ矢張沿海貿易ヲヤルノデアリマス、併シ條約國ノ中デモ最惠條款ノ規定ノナイ國デハ出來マセヌノデアリマス、ソレカラ臺灣カラ日本ニ米ヲ運ブトカ砂糖ヲ運ブトカ云フコトモ矢張同ジ關係デアリマシテ詰リ條約デ沿海貿易ノ利益ヲ日本ニ對シテ得テ居ル諸國ノ船ナラバソレニ

依ッテ支ヘナクヤラセナケレバナラヌ、ソレヲ得ナイ諸國デアレバ出來ナイ、犯セバ三條ニ觸レルト云フコトニナルデアリマス

○水野達君 モウ一應確メテ置キマス、左様致シマス第三條ハ實際何ニモナラヌ條デ我帝國デ禁シタノハ立派デアアルガ均霑ノタメニ支那ト朝鮮ヲ除クノ外ハ均霑スルニ依リ三條ハ有名無實ニナルヤウナコトデ今ノ、御説明ニ據レバ……

○政府委員(田健治郎君) 有名無實ニ限リマスマイ、即チ最惠國デ無イモノハ無論デヤラレルノデアリマス、最惠國タケハ即チ條約上ノ均霑ニ依ッテ得ルノデアリマスカラ、ソレダケノモノハ此デ取除イタノデアアルカラ幾分カソレダケ取除ケテ此モノガ無効ニナルコトハアリマセウガ共存シテ居ル一部ノ最惠國條款ニナイモノハ無論止メ得ルノデアリマス

○水野達君 支那ト朝鮮トハ取除カレルコトニナリマスカ

○政府委員(田健治郎君) 左様デゴザイマス

○男爵船越衛君 チョット御尋ヲ致シマス、三條デゴザイマスガ、唯今ノ御答ヲ伺ヒマシテ大概分リマシタガ開港場ニハ薪水或ハ食糧等ヲ送ルコトモ出來ナイノデゴザイマスカ

○政府委員(田健治郎君) モウ一過……

○男爵船越衛君 薪水水、或ハ食糧トカラ……

○政府委員(田健治郎君) ソレダケデゴザイマスカ、此薪水ノ事ニ附キマシテハハ別段デゴザイマス、ト申スノハ但書ノ中ニモ「海難若クハ捕獲ヲ避ケントスルトキ」トアリマシテ取除ケニナッテ居リマス、此薪水ノ缺乏ヲ告グテ不開港場ニ寄港スルコトハ矢張海難ニ原因シタコト、見ナケレバナラヌノデアリマス、當然デ行クモノナラバ必ズ當リ前ノ港ニ行クニ食ガ切レ薪水ガ切レルヤウデハ發港スルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレガ途中デ薪水ガ切レ或ハ食糧ガ缺乏スルコトナラ矢張リ海難ニ原因シテ居リマスカラ、ソレガタメニ不開港場ニ寄港シテ薪水食糧ヲ求ムルト云フコトハ構ハヌノデアリマス

○男爵船越衛君 モウ一應伺ヒマス、今ノ極ッダ話ヂヤト、ソレデ行キマスカ、御承知デゴザイマセウガ近來密獵船ガ跋扈シテ、海難ニ遭ハヌデモ臘虎杯ヲ逐フタメニ日數ガ掛ッテ薪水食糧杯ノ缺乏ヲ來シテ寄港スル者ガアリマスカ、ソレ等ハ矢張今ノ御説明ニ這入りマスカ、全體ハ問題外デアリマスカ密獵ニ附イテハ甚ダ遺憾ニ堪ヘヌコトヲ感シテ居リマス、此本文デソレ等ガ取締レマセウカ、甚ダ不本意ト思ヒマス

○政府委員(田健治郎君) 其事ハ既ニ明治三年ノ開港場取締規則ノ中ニモ似寄ッタコトガ出テ居リマス、唯難船デモ無クシテ食糧缺乏等ニ限リ相當ノ取締

締リセネバナラヌ即チ明治三年ノ不開港場取締規則ニ「難船ニ無之食料缺乏等ニ托シ密商仕向候節ハ定而其土地ニモ右ヲ呼迎候者可有之速ニ探索之上彌密商イタシ候ニ相違無之候ハ、雙方トモサシ押云々」ト斯ウゴザイマス、是ハ勿論密商ノ取締デゴザイマスガ彼ノ漁獵船ノ如キモノガ尙ホ斯クシテ實際正當ノ原因デナクシテ開港場ニ寄ルトキハ矢張是デ取締ヲセヌケレバナラヌ、勿論海難トカニ原因シテ這入ッテ來ルノハハ別段デゴザイマスガ、ソコハ取締上事實問題ニナルデアラウト考ヘマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ發議者ガナケレバ第二讀會ニ移ルベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案第二讀會ニ移ルベシト認メテ御異議ガアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

然ラバ第二讀會ニ移リマス

○子爵鍋島直彬君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ

〔贊成〕ト呼フ者數名アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 唯今第二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者數名アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ第二讀會ニ移リマス、第一條第二條問題ニ供シマス、朗讀ハ條文ガ多ウゴザイマスカラ省略致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 第一條第二條御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者數名アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ニ第三條ヲ問題ニ供シマス

〔特別委員修正案〕

第三條 日本船舶ニ非サレハ不開港場ニ寄港シ又ハ日本各港ノ間ニ於テ物品又ハ旅客ノ運送ヲ爲スコトヲ得ス但法律若クハ條約ニ別段ノ定アルトキ、海難若クハ捕獲ヲ避ケントスルトキ又ハ戰爭其他ノ變亂ノ場合ニ於テ主務大臣ノ特許ヲ得タルトキハ此限ニ在ラス

○議長(公爵近衛篤磨君) 第三條委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半數ト認メマス、次ハ第四條ヨリ第十六條マデ問題ニ供シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 第四條ヨリ第十六條マデ御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

次ハ第十七條ヨリ第二十八條マデ……
○議長(公署近衛篤磨君) 第十七條ヨリ第二十八條マデ御異議ガナクバ原案ニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
次ハ第二十九條ヨリ第三十三條マデ……

○議長(公署近衛篤磨君) 第二十九條ヨリ第三十三條マデ御異議ガナクバ原案ニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
是ニテ二讀會ハ終リマシタ

○子爵鍋島直彬君 直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
○小原重哉君 賛成

○議長(公署近衛篤磨君) 第三讀會ヲ直ニ開クト云フニ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
然ラバ第三讀會ニ移リマス

○議長(公署近衛篤磨君) 本案可決ト認メテ御異議ガナクバ可決ト認メマス
北海道官設鐵道會計ニ關スル法律案、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(子爵會我祐準君演壇ニ登ル)

○子爵會我祐準君 委員會ノ報告ヲ致シマス、此案ハ極テ簡單ナ案デゴザイマシテ委員會モ僅ニ四十分ノ間デ可決致シマシタ、北海道ノ鐵道ト云フモノ、即チ官設ノ鐵道ト云フモノハ諸君モ御承知デアリマセウガ空知太ヨリ旭川マデ三十五哩バカリ、ソレカラ旭川ヨリラント云フ所マデ十四哩バカリ、ソレカラ旭川カラ他ノ方向ニ向ッテビバウシト云フ所マデ二十哩、合セマシテ六十幾哩ト云フモノガ出來テ居ルノデ、サリナガラマダ車ハ回ラヌノデ、即チソレガ七月ノ十五日ニ是ダケノ所ニ於ケル鐵道ガ開業スルコトニナッテ居ルサウデアリマス、然ルニ明治二十三年法律第二十號即チ此案ノ官設鐵道會計法ト云フモノガアリマスガ、官設鐵道ノ會計法ト云フモノハ特別會計ニナッテ其鐵道ヲ回スタメニ即チ營業事業デスナ、事業費ハ其收入ヨリ辨ズル譯ニナッテ居ル、特別會計デアルカラ、然ルニ北海道ノ鐵道ハ收入ヲ以テ其事業費ヲ償ヒキラナイ、收入ノ方ガ少イ見込デアアル、デ明治三十一年度ニ於キマシテハ車ヲ回ハスタメニ即チ支出ガ十八萬圓バカリノ見込ヂヤサウデゴザイマスガ、然ルニ收入如何ト云フト八萬六千圓バカリ、ソレニハ色々アリマシテ支出ノ中ニハ其事業費バカリデナシ後ニ殘ル費用モアルサウデアリマスカ、即チ來年ニ掛ッテ殘ル作業ニ係ルヤウナコトデアリマセウ、色々入込シタコトガアルサウデゴザイマスガ免モ角純損ト云フモノガ四萬圓バカリハ

全ク損ヲセネバ此車ガ回ハサレヌト云フ譯デアアル、又三十二年度ニハ支出ガ幾ラデアアルカト云フト三十八萬圓バカリノ支出デサウシテ收入ノ見込ガ十九萬圓バカリシカナイ、サウシテ是モ亦色々ノ後ニ殘ルモノヲ差引イテ純損ト云フモノガ五萬四千圓バカリ全クノ純損ニナル、ソレ故ニ特別會計トシテハドウシテモイケヤウハナイ、入ッテ來ルモノガ多ケレバ宜イガ入ッテ來ルモノヨリハ出スモノガ多イモノダカラ特別會計ノ立テヤウガナイ、ソレ故ニ此特別會計外ニ一種ノ事業費トシテ政府ヨリ出ス、サウシテ其收益ハ一ノ收入トシテ國庫ニ納メルト云フ普通ノ會計ノ如キ手段ニセネバドウシテモヤリヤウガナイ、ソレ故ニ即チ此案ガ提出サレタ譯デアリマス、尤モ唯今ノ見込デハ長ク是ガ此通デ毎年國庫ガ損ヲシテイカナクテハナラヌカ、ドウデアアルカト云フ所ハ唯今ノ見込デハ先ヅ三十四年度マデ位イケバ其中ニハ收入ガ多クナッテ來ルシ特別會計即チ一般ノ官設鐵道會計法ニ法ッテイケルコトモ出來ヤウト云フ見込サウデゴザイマス、唯是ハ先キノ見込デアリマスカラ實際ドウナルカ分リマセヌ、斯ノ如キ理由ヲ以テ本案ガ提出ニナリマシタ譯デアリマシテ、先刻申シマシタ通十四五分バカリデ委員會ハ全委員一致ヲ以テ可決致シマシタカラドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○子爵小笠原壽長君 此案ハ皆サンニ於テモ御異存ハナカラウト思ヒマスカラ讀會ノ順序ヲ省略スルト云フ動議ヲ提出致シマス

○南鄉茂光君 賛成

○男爵尾崎三良君 賛成

○子爵山本實庸君 賛成

○子爵本莊壽巨君 賛成

○男爵中川典長君 賛成

○子爵立花種恭君 賛成

○三浦安君 賛成

○子爵山内豐誠君 賛成

○伯爵坊城俊章君 賛成

○平山成信君 賛成

(其他「賛成」ト呼フ者アリ)
○議長(公署近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ガ成立チマシタ、是ニ附イテ決ヲ採リマス、賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公署近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略致シマス、次ニ本案ニ附イテ御異議ガナケレバ可決ト認メテ宜シウゴザイマスルカ
(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ本案ハ確定致シマシタ、第三、軍機保護法案、政府提出第一讀會是ハ條項ガアリマスカラ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(小原書記官朗讀)

軍機保護法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十一年五月三十日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文
海軍大臣侯爵西鄉從道
陸軍大臣子爵桂 太郎
司法大臣 曾禰荒助

軍機保護法案

軍機保護法

第一條 動員出師國防其ノ他軍事上祕密ヲ要スル事項又ハ圖書物件ヲ探知
收集シタル者ハ重懲役ニ處シ其ノ情輕キ者ハ一等ヲ減ス

第二條 職務ニ因リ軍事上祕密ヲ要スル事項又ハ圖書物件ヲ知得領有シ之
ヲ他人ニ漏洩交付シ若ハ之ヲ公示シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

第三條 偶然ノ理由ニ因リ軍事上祕密ヲ要スル事項又ハ圖書物件ヲ知得領
有シ之ヲ他人ニ傳説交付シ若ハ之ヲ公示シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第四條 許可ヲ得シテ軍港要港防禦港又ハ堡壘砲臺水雷衛所其ノ他國防
ノ爲建設シタル諸般ノ防禦營造物ヲ測量摸寫攝影シ又ハ其ノ狀況ヲ錄取
シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上三百圓以下ノ
罰金ニ處ス

因テ第一條ノ罪ヲ犯シタル者ハ一ノ重キニ從テ處斷ス

第五條 許可ヲ得ス又ハ詐偽ノ所爲ニ因リ許可ヲ得テ堡壘砲臺水雷衛所其
ノ他國防ノ爲建設シタル諸般ノ防禦營造物内ニ入りタル者亦前條ノ例ニ
同シ

第六條 本法ニ規定シタル輕罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪
ノ例ニ照シテ處斷ス

第二條ノ罪ヲ犯サントシテ其ノ豫備ヲ爲シタル者ハ同條ノ刑ニ照シ二等
又ハ三等ヲ減ス

第七條 本法ノ罪ヲ犯シ因テ財物ヲ得タル者ハ其ノ財物ヲ沒收シ既ニ費消
シタルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第八條 本法ハ刑法第二編第二章第二節外患ニ關スル罪陸軍刑法第二編第

一章反亂ノ罪海軍刑法第二編第一章反亂ノ罪ニ關スル規定ノ效力ヲ妨ケ
ス

○子爵谷干城君 此法案ハ隨分重大ナ法案デゴザイマスルガ當局大臣デモ出
テ演説セラル、デアリマセウカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 今政府委員ヲ呼ビニヤリマシタ
(政府委員中村雄次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(中村雄次郎君) 本法案提出ニナリマシタ理由ヲ申述べマス、軍
備ノ擴張モ追々整頓致シマシタル今日軍事ノ祕密ヲ保護致シマスルコト云フコ
トハ誠ニ必要ナコト、ナリマシタノデゴザイマス、然ルニ現行ノ法律ニ依リ
マシテハ戰時即チ敵ナルモノ、生シマシタルトキニ於キマシテハ即チ軍機軍
情ノ漏洩致シマスルコトヲ取締リマスル規定モ亦間牒ニ關シマスル規定モ盡
ク備ツテ居リマスル、併ナガラ平時即チ未ダ敵ナルモノ生セザルトキニ於キ
マシテハ唯纔ニ陸軍刑法第百五條及海軍刑法第八十四條ノ規定ガアリマスル
バカリデゴザイマスル、然シテ此規定ニ於キマシテハ、纔ニ軍機ノ祕密ナル
モノガ漏洩致シマスル即チ漏洩ト云フコトヲ要件ト致シテゴザイマスル、且
ツ其所爲ガ輕罪ニ定メテゴザイマスル、然シテ未遂犯ヲ罰シマスルノ規定ト
云フモノガゴザイマスル、ソレ故ニ例ヘバ祕密圖書物件ノ如キモノヲ收集致
シマスル者又收集セント致シマスル者等ニ關係致シマシテハ少モ罰スルコト
ガ出來マセヌ、即チ其祕密ヲ探知シタル後漏洩致シ、漏洩致シタルメニ害ノ生
ジタトキ始テ之ヲ罰スルコトガ得マスルンデゴザイ、故ニ平時ノ取締ニ於テ
ハ今日ノ規定ハ甚ダ不十分ト言ハナケレバナリマセヌ、即チ是ガ本法案ヲ提
出致シマシタ理由デアリマスル

○子爵曾我祐準君 段々是ニハ不審ガアリマスガ成ル程本案ハ重大ナ必要ナ
案デアラウトハ本員等モ考ヘマスガ圖書物件……圖書ハ分リマスガ物件ハド
ンナモノヲ指スカ、探知收集トアリマス、探知トハ探知知ルト云フ字デア
ルガ之ヲ敵ニ漏ス意デモ何デモナシニ軍事ノ祕密ニ涉ルコトヲ學問ノタメナ
リ或ハ自分ガ國家ヲ憂フルカラノ點カラシテ探知スルト云フコトモ或ハ有リ得
ルダラウト思ヒマスガソレ等モ矢張是デ論ズルデアリマスカ、ソレカラ探知
ハ如何ナルコト收集ハ如何ナルコトデアルカモ併テ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(中村雄次郎君) 此圖書物件トハ圖書ハ即チ申シマスルマデモゴ
ザイマセヌ、物件トハ物及事柄ヲ併セテ指スノデゴザイマス、ソレカラ探知
收集トシマスル探知ハ即チ軍事ニ屬シマスル祕密ヲ探知知ルノデゴザイマ
ス、又收集ハ圖書等ヲ集メマスル事柄デゴザイマス、然シテ其御問ノ中ニ探
知シタルソレバカリデ既ニ罰スルカ否ヤ之ヲ平時デゴザイマス、敵ノナイ場
合ニ於テ或ル部分ニ……漏シテ惡ルイ所ニ漏ス意ナクシテ集メタモノハ如何

デアルカト云フ御尋ネノヤウニ思ヒマシタガ是ハ即チ軍事ノ秘密ト云フコトヲ知ツテ探リ知ツタ以上ハ罰スルノデアリマス、漏サナクツテモ既ニ軍事ノ秘密ト云フコトヲ知ツテ故ラニ探ツタモノハ既ニ罰アリト看做スノデゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 事項物件ノ差ハドレダケ違ヒマスカ

○政府委員(中村雄次郎君) 事項ト云フ事柄ハ即チ軍事ノコトデゴザイマス、ツレカラ物件ト申シマスルノハ總テノ物及事柄ヲ指シマスルノデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 事項トノ差デゴザイマス、私ノ聞クノハ……

○政府委員(中村雄次郎君) 是ハ唯今私ハ少シ御答ハ出來兼ネマスル委員會ニ於テ詳シク取調ベテ御答ヲ致シマスル

○子爵曾我祐準君 御答ノ出來ヌ所ハ宜シウゴザイマス、其秘密ナルコトハ何カデ證明スルデアリマセウ、物件圖書事項ニシテモ政府ノ方デハ秘密トシテモ人民ノ方デハ秘密ト云フコトヲ知ラナイノガアラウト思ヒマス、圖書ハ其圖書ニ秘密ト云フ判デモ押セバ差支ハナイガ事項杯ハドウシテ極メマスカ、秘密ナルヤ否ヤト云フコトガ分ラヌデ集メタモノガ……集メテ之ヲ秘密デナイト思フテ集メテ罰セラレルコトガアラウ、圖書ハ判ヲ押シテモ出來ヤウガ事項ハ印判ヲ突ク譯ニハ行カヌガツレハドウシテ知レマスカ

○政府委員(中村雄次郎君) 秘密ナルモノヲ知ラズシテ集メタルモノハ罪トナラヌト考ヘマス

○子爵曾我祐準君 知ラズシテ集メレバ宜イノデアリマスカ

○政府委員(中村雄次郎君) 知ラズニ集メタモノハ罪トナラウ答ハナイト考ヘテ居リマス

○子爵曾我祐準君 サウスルト秘密トハドウシテ極ルノデアリマスカ

○政府委員(中村雄次郎君) 秘密トハ、即チ圖書ノ如キハ今仰セノ如ク判ヲ押シテ極メルノデゴザイマス、其他ノ事柄ハ軍事ノ秘密トシテ漏ス答ハナイ、漏デシタ所ガ取調ベレバ分リマスカラ漏ラシタコトガ出テ來ルノデゴザイマス、軍事ノ秘密ト云フコトヲ知ツテ探知シタコトデアレバ即チ其者ハ罪ニナリマス、眞ニ知ラズシテ集メタモノハツレハ罪ニナラウ答ハナイノデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 秘密ナルコトヲ知ツテト云フ文字ガ無イ「動員出師國防其ノ他軍事上秘密ヲ要スル事項」トアツテアナタノ云フヤウナコトハ書イテナイ、貴君ノ云フヤウナ御説ナラバ書直シテ貰ハネバ法律ニナラヌ

○政府委員(中村雄次郎君) 併ナガラ……御答致シマス、併ナガラ知ラズシテ、知ツテ惡イト云フコトヲ知ラズシテ行ツテ罪トナラヌト云フコトハ申サ

ズシテ一般ニ極ツタコト、考ヘテ居リマス

○子爵曾我祐準君 ツレハ法理論デ私ガ貴君ト法理論ヲスルノハ見當違ダカラ法理論ハ措イテ此問題ニ附イテ御尋スルノデアアル、秘密ヲ要スル事項、ツレヲ集メタラ惡ヒノダラウ、ツレヲ私ハ集メヌ精神デハアルケレドモ秘密ト云フコトヲ知ラズニ集メタラドウシマスカ、ツレハ罪ガナイト仰シヤルカ、探知ハ成ル程探ト云フ字ガアルカラ一ノ意思ガアツテ集メルトカ探ルトカ云フコトニモナル、併ナカラドシナ秘密ナコトデモ秘密ト知ラズシテ集メレバ無罪ト云フコトヲ此法律デハ仰シヤルノデスカ

○政府委員(中村雄次郎君) 眞ニ知ラズシテ集メタモノハ致方ガナイ罰シナイト云フノデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 ツレナラバ此條文ハ知ツテ收集シタノガ惡イト云ツテ貰ハヌトナラヌ

○男爵小澤武雄君 本員モ質問致シマス今ノ曾我子爵ノ御尋ハ私共甚ダ尤モト考ヘマス、一體秘密ヲ要スル事項ヲ人民ニ知ラセズニ置イテ是ダケハ秘密ダト云ツテ罰スルコトハ固ヨリ無理ナコト、ツレニ秘密ヲ知ラズシテヤツタラ宜シイト云フケレドモ罪人ガ私ハ知ラズニヤリマシタト云ツテ居ツタラ其人ハ罰スルコトハ出來ナイト云フコトノ結果ニ確カナルヤウニ思フカラ是デ若シ政府委員ノ説明ノ通デアレバ此法律ヲ拵ヘテ置イテモ罰スルコトハ出來ナイダラウト思ヒマス、知ラズシテヤルナラバ宜シイト云フコトデアリマストドフシテ之ヲ罰スルカト云フコトガ聞キタイツレカラ是マデモアリマシタ議會デ隨分其軍事ノ秘密デアルケレドモ秘密會ヲ開イテ説明杯ヲ聞イタコトモアル、之ヲ法律ニツレヲ知ツテ惡イト云フコトニナルト何カ取除法ガアレバ格別ナカッタナラバ一切此議會ニ對シテモ云ハナイ、政府ハ説明シナイ、シナイト云フタメニ使フ其爲ニ拵ヘルヤウニ思ハレルガツレハドウシテ其時ニハ之ヲ活用シマスカ、ドウスル積リデアリマスカ

○政府委員(中村雄次郎君) チョット私ハ確メタイ、此法律ガ出來ルト秘密ヲ云フコトハ出來ナイガツレハ議會邊リデ困ルガドウカト云フ御尋デアリマスカ、ドウデスカ

○男爵小澤武雄君 ツレハ二番目ノ方デアリマス、困ルバカリデハナイ知ツタ者ハ罰セラレルノデアルカラ政府委員ハドウカシテ云フカモ知レナイケレドモスレバ罰スル譯デアリマスカラ聞クコトハ出來ナイ

○政府委員(中村雄次郎君) 併シ聞イテ罰スルト云フコトハ此所ニナイノデゴザイマス、即チ此中ニ在リマスル偶然ノ原由ニ因リマシテサウシテ其事ヲ知ツタ者ガ他ニ漏サナケレバ宜シイ、例ヘバ貴君ガ軍事ノ秘密ヲ御聞キナサレテモ御聞キナサレタコトデ他ヘ御漏シナサラヌケレバ夫ハ宜イト云フ譯ニ

ナリマス

○男爵小澤武雄君 ツレハ何所ニアリマスカ

○政府委員(中村雄次郎君) 第三條デアリマス、第三條ニ「偶然ノ原由ニ因リ軍机上秘密ヲ要スル事項又ハ圖書物件ヲ知得領有シ之ヲ他人ニ傳説交付シ若ハ之ヲ公示シタル者ハ」云々トゴザイマスガ之ニ依ッテ初テ罪ガ生ズル、ケレドモ貴君ガ御聞キナスッテ他ニ秘密ヲ御守リナサリサヘスレバ決シテ罰ハナイ

○男爵渡邊清君 本員モ心得ノタメニ承ッテ置キマス、甚ダ此一條ハ本員杯モ分ラヌデスガ動員ノ秘密ト云フコトハドウ云フコトデゴザイマスカ、出師國防ニハ秘密ト云フコトガアリサウデアリマスガ動員ノ秘密ト云フコトハ分リ兼ねマス

○政府委員(中村雄次郎君) 動員ト云フ事柄ノ中ニハ種々ナコトガアルノデアリマス、即チ兵ヲ集メ總テノ材料ヲ用意シ即チ軍ヲ編制シテツレヲ出スマデノコトヲ動員ト云フ文字ノ中ニ含シテ居リマス、ツレ故ニ其中ニハ秘密ガ澤山ゴザイマス

○男爵渡邊清君 ツレハ陸軍海軍ノ内輪ノコトデアリマセウガ此秘密ニハ豫備徵員デスネ、豫備徵員杯ガ募集サル、ト云フコトヲ知ッテモイカヌノデスカ

○政府委員(中村雄次郎君) ツレガタノニ動員何ヤト云フコトニ附イテ秘密ノ事項、秘密ヲ要スル事項ト云フモノハ總テニ掛ッテ居リマス

○男爵渡邊清君 秘密ト云フコトガ分ラヌ

○政府委員(中村雄次郎君) 其中ニ秘密ト云フコトガアリマス、動員計畫ト云フ中ニ秘密ノ事項ガアリマス、即チ豫備徵員ヲ召集スルト云フダケノコトガ動員ト云フコトデゴザイマスレバ其中ニ他ハゴザイマセヌガ動員ト云フ字ハ元來多ク陸軍デ使フ字デアリマス、出師ノ字ハ海軍デ使フ、ツレ故ニ動員出師ト分ケマシタノハ陸軍海軍ヲ集メテ云ハシタ言葉デ陸軍デ動員ト云フ字ハ餘程廣イ字デアリマス、陸軍海軍ニ關スル法律デアリマスカラコ、ニ動員出師ト分ケタノデアリマス、故ニ動員ト云フモノハ陸軍ノ方デ廣イ事柄ニ使フツレ故ニ其中ニハ秘密ナ事柄ガ澤山アルト御承知ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 先刻本員ガ質問シマシタノモ唯今渡邊君ノ質問ニ對シテ答ヘラレタノデ大ニ端緒ガ附イテ來マシタ動員ト出師ノコトハ心得テ居リマスガ其動員中ノ或ル部分ガ秘密デアルト斯ウ云フ意味ダト仰シヤル

○政府委員(中村雄次郎君) 左様デス

○子爵曾我祐準君 動員ヲ調ブル時ニ或ル部分ハ秘密デアルト云フ分界ハドウシテ知リマスカト云フコトヲ御尋シタノデアリマス、ツレハ書物ナラバ三

卷目マデ秘密デ四卷目五卷目ハ秘密デナイト云フコトハ分ルガ或ル事項、動員ニ附イテノ秘密ノ分界ハドウシテ知リマスカ

○政府委員(中村雄次郎君) ツレハ當局者ノ外ハ分リマセヌ、其秘密トシマス事柄デスト其他一般ニ示スベキモノハ即チ動員ノ事柄デモ秘密デゴザイマセヌガ其中ニ秘密ノ事柄ガゴザイマス、ツレハ當局者ガ保管シテ居ル、保管シテ居ルコトハ即チ秘密デアリマス、ツレヲ故ラニ探リマシタリスルハ即チ秘密ヲ探知スルト云フコトニナルノデアリマス

○子爵曾我祐準君 其當局者シカ知ラナイコトデアル、ツレガ因ル、當局者ハ犯罪人ニハナラヌガ當局デナイ者ガ知ッタル罰スルコトガイカヌ、何所カラ先キヲ知ッテハナラヌト云フ分界ガドウシテ附イテ居ルダラウカト云フノガ質問デアリマス、殊ニ探知ト云フタラ成ル程一ツノ希望ガアッテ探ルト云フ字ニナルカラ探リ知ルト云フカラ或ハサウ云フ意味ニ取レルカ知ラヌガ收集ノ如キコトニ至ッテハドウシテモ秘密ト云フコトガ分ラヌ、或ハ集メテ居ッタモノヲ罰スルト云フコトニドウシテモナルヤウデアリマス、政府委員ハ有心デナケレバ秘密ト云フコトヲ知ッテ居ラナケレバ罰セヌト仰シヤルケレドモサウハ此法律ハ讀メヌ、政府委員ニハ讀メテモ天下ノ人ニハ讀メヌト思ヒマス

○政府委員(中村雄次郎君) 收集ト云フコトニ附イテハ御斷リ致シマスガ多ク圖書ニ關係シテ秘密ト云フコトヲ申スノデアリマス、其圖書ニ付テノ秘密ハ即チ曾我子爵ノ前ノ御説ノ如ク即チ御承知デモゴザイマセウガ即チ秘密ノモノデ、各、秘密ノ印シテ、サウシテ必ズ責任ヲ持ッタ保管者ヲ拵ヘテ保管シテゴザイマス、之ニ附イテハ明ニ秘密ト云フコトハ分ッテ居リマス、ツレデ總テ書イタ物又版ニシタモノ其形ノアルモノニ附イテハ悉ク陸軍ニ於テハ秘密ト云フコトハ分ッテ居リマス、唯、形ノナイモノニ附イテハ曾我子爵ガ前ニ申サレタ如ク是ハハ秘密デアルト云フコトハ豫メ人ヲシテ知ラシムルコトハ出來マセヌノデゴザイマス

○子爵本莊壽巨君 チョット質問致シマスガ第一條ノ所デ以テ情ノ輕キ者ハ一等ヲ減ズルト云フコトニナッテ居リマス、又此刑法ノ總則ニ據ルト若シ情狀ヲ酌量セネバナラヌヤウナ場合ニハ之ニ對シテ合法ノ酌量ガ又一等ヲ減ズル外ニ出來ルデセウカ、ツレハ第四條ニ依ッテ、第四條ノ罪ヲ犯シタ事柄ヨリシテ又第一條ノ罪ヲ犯シタ時ニハ一ノ重キニ從ッテ處斷スルト云フコトニナッテ居ル、サウスルト第四條カラシテ若シ第二條三條ノ罪ヲ犯シタ時ニハ之ヲ一々罪ニ問ハレテ居ルモノデスカ、又ハ是ハ刑法ノ總則ニ依テ數罪俱發ノ例ニ據ルナラバナゼ一條ノ罪ダケヲ犯シタ時ニハ一ノ重キニ從ッテ處斷スルト云フコトガ書イテアルカ、ソコヲチョット……

○政府委員(中村雄次郎君) 御答致シマス、唯今ノ御問ハ第一條ニ情ノ輕イ

者ハ一等ヲ減スト書イテ居ルサウシテ第四條ニ於テ……第四條ノ第二項ニ「第一條ノ罪ヲ犯シタル者ハ一ノ重キニ從ツテ處斷ス」斯ウ書イテアル此事ニ就テノ御尋ダツタト考ヘマシタ、是ハ則チ第四條ハ斯ウ云フ輕イ罪デアルノデアル然ルニ第四條ノ罪ヲ犯シテ、其犯シタ中ニ即チ第一條ノ意味ヲ含ンデ居ッタナラバ即チ第一條ノ重イ方ニ依ツテ處斷スル、斯ウ云フ事柄デアリマス、例ヘバ許可ヲ得テ軍港要港等ノ中へ這入リマシテサウシテ其這入ッタノハ第四條ノ許可ヲ得テ這入リマシタガ、サウシテ其這入ッテ其中デ即チ第一條ノ如キコトヲ企テタル時ニハ第四條ノ罪ハ輕ウゴザイマスルケレドモ第一條ノ罪デ罰スルト斯ウ云フノデゴザイマス

○子爵本莊壽巨君 ヲレハ分ッテ居ルデス、第四條ノ罰ヲ犯シテカラ其罪ノ事柄ヨリシテ第一條ノ罪ヲ犯シタヤウナ場合ニハ一ノ重キニ依テ處斷スルト云フコトハ御問ヒ申サヌデモ分ッテ居ル、若レ第四條ノ罪ヲ犯シテ第二條第三條等ノ罪ニ觸レタ時ニハドウスルカト云フノデアアル、第一條ノ罪ヲ犯セバ一條ノ重イ方ヲ以テ罰スル固ヨリ第四條ノ罪ハ輕イ、第四條ノ罪ヲ犯シテ若シ二條三條ノ罪ニ觸レタ時ニハドウナサルノデゴザイマス、ソレカラ一ノ尋ニハ御答ガナカッタ情ノ輕イ者ハ罪ヲ減ズルト云フコトハ分ッテ居ルケレドモ若シ之ヲ酌量スベキ情狀ノアルトキニハ此情ノ輕キ者ハ刑法ニ依テ一等ヲ減ジタ時ハ尙酌量ノ法ヲ用ヒルヤ否ヤト云フノデアリマス

○政府委員(中村雄次郎君) 此第四條ヲ犯シテサウシテ共ニ第二條ヲ犯スト云フコトハ是ハナイノデゴザイマス、事柄ガ出來マセヌ即チ此第二條ハ職務ニ依ッテ軍事上ノ秘密ヲ持ッテ居ルモノデゴザイマス、ソレ故ニ第四條ノ罪ヲ犯スト同時ニ第二條ノ罪ハ犯ストコトハナイノデゴザイマス、ソレカラ第三條ノ罪ヲ同時ニ犯シマシタ者ハ是ハ無論重キニ依ッテ罰スベキモノト思ヒマス

○子爵本莊壽巨君 ドウシテ政府委員ハ第四條ノ罪ヲ犯シテ第二條ノ罪ハ犯サレナイ、同時ニ犯ストコトガナイト云フノデスカ、例ヘバ營所ノヤウナモノヲ撮影シテ尙ホ又軍事上ノ秘密ノ事ヲ他人ニ漏洩シタ時ニハ犯サレナイト云フコトハ決シテナイ、犯サウト思ヘバ犯ストコトガ出來ル、ドウシテモ起ル犯罪ガナイト云フコトハ決シテ言ハレナイ、ソウ云フヤウナコトガ起ッタ場合ニハドウナサル積デアルカ、第一條ダケノ罪ヲ犯シタ時ニハ一ノ重キニ依テ處斷スルケレドモ若シ第四條ノ營所ヲ撮影シテ又其他ニ營所ノ撮影シタ事柄ヨリシテ圖書等ヲ造ッテ之ヲ他人ニ漏洩シタトキニハ直グニ二ツ罪ガ起ル其時ニハ各自兩方共ニ罰セラレルノデスカ

○政府委員(中村雄次郎君) 第二條ハ職務ニ依ッテデゴザイマス、官吏ガ所有シテ居ル所ノモノヲ保管シテ居ル所ノ秘密ヲ漏スノデアリマス、故ニアナタノ今仰セノ如キハ則チ第一條ニ當ル、第二條ニハ當リマセヌ、此第一條ハ普

通ノ者ガ軍事ノ秘密ヲ知ッテ、ソレヲ收集シタル事柄、第二條ハ職業ニ於テ持ッテ居ル者ガ漏スノデ是ハ働掛ケト受身トニナッテ居ル、故ニ第一條ヨリハ第二條ノ方ガ重イノデ第二條ハ秘密ヲ管理シテ居ルノデ第一條ハ其管理シテ居ル秘密ヲ盜ム者デアリマス、ソレ故ニ第四條ハ第一條ト同時ニ第一條ノ罪ヲ犯スト云フコトニナル

○子爵本莊壽巨君 ヲレハ分ラヌ第四條ト第三條ハ職務ニ關シテ居ラヌ、第四條ノ罪ヲ犯シ尙ホ又第三條ノ罪ヲ犯シタルトキハドウ處分ヲナサルノデアルカ、ソレト一向前ニ伺ッタ情ノ輕キ者ハ一等ヲ減ジテ尙ホ酌量スベキ時ニハ其他ニモ減セラレルノデアリマス

○政府委員(中村雄次郎君) 第二條第三條ニ就イテ御問ヒデアリマシタカラソレニ就イテ申上ゲタノデアリマス

○子爵本莊壽巨君 第四條ト共ニ第三條ノ罪ヲ併セテ犯シタ時ニハドウナサルカ

○政府委員(中村雄次郎君) 第四條ト共ニ起ル事柄モアリマセウ、第三條ノ時ニハ即チ重キニ依ッテ矢張是ハ罰スルモノト思ヒマス

○子爵本莊壽巨君 サウスルト第一條ノ情ノ輕キ者ハ一等ヲ減ジテ尙ホ酌量スベキ時ハドウナサルカ

○政府委員(中村雄次郎君) ソレハ普通ノ例ニ依テ宜イト考ヘマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉……選舉ノ手續ヲ致シマス

○侯爵細川護成君 是ハドウナタモ御發議ガゴザイマセヌカラ私カラ申シマス、イツモノ通ニ議長ニ御委託ヲ致シタイ

○子爵小笠原壽長君 贊成

(其他贊成ト「呼フ者アリ」)

○男爵小澤武雄君 議長ニ御委託スルコトニハ異議ハアリマセヌガ此法律ハ餘程ムツカシイ法律デアリマスカラ能ク審査ヲシナケレバナライ、ソレデ是ハ十五名ノ委員ヲ御選定ノコトニ願ヒタイ

○侯爵細川護成君 本員ハ矢張九名デ宜カラウト思ヒマス

○子爵本莊壽巨君 本員モ今細川侯爵ノ發議ニ贊成致シマス

○伯爵廣澤金次郎君 本員モ細川侯爵ニ贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 十五名ト云フ説ガ出マシタガ贊成ガアリマセヌカラ……

○山中幸義君 本員モ十五名ノ説ニ贊成

○田村耕平君 本員モ十五名ノ説ニ贊成

○三田昇馬君 本員モ十五名ノ説ニ贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 先ツ二様ニ決テ採ラナケレバナリマセヌガ細川侯爵ノ發議ハ九名デ宜カラウト云フ說デアリマス、ソレカラ小澤男爵ノ說ハ十五名ニシタラ宜カラウト云フ說デアリマスカラ、小澤男爵ノ委員十五名ニスルト云フ說ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數デゴザイマス、然ラバ矢張九名ト云フ說ガ成立チマシタ、第五、香川縣下郡廢置法律案政府提出、衆議院送付、第一讀會、是モ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

〔小原書記官朗讀〕

香川縣下郡廢置法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十一年五月二十八日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

香川縣下郡廢置法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十一年五月十九日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文
內務大臣子爵芳川顯正
(ハ衆議院ノ修正)

香川縣讚岐國大内郡及寒川郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ大川郡ヲ置ク
香川縣讚岐國三木郡及山田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ木田郡ヲ置ク
香川縣讚岐國阿野郡及彌足郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ綾歌郡ヲ置ク
香川縣讚岐國那珂郡及多度郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ仲多度郡ヲ置ク
香川縣讚岐國三野郡及豐田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三豐郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治三十一年十月一日ヨリ施行ス

(政府委員荒川邦藏君演壇ニ登ル)

○政府委員(荒川邦藏君) 郡制施行ノ準備ト致シマシテ此度更ニ又郡廢置法律案ヲ提出致シマシテ皆御承知ノ通ニ郡制モ發布以來既ニ十箇年ノ星霜ヲ經過シテ居リマスルガ其間郡制施行ノ準備トシテ第一期議會並ニ第二期議會ト引續イテ郡廢置法律案ヲ提出致シマシタ所不幸ニシテ衆議院ニ於キマシテ

ハ再度共否決ニナリマシタ、其後暫ク中止ヲ致シマシテ第九讀會ニ至リ大多數ヲ以テ廢置法律案ヲ通過致シマシテ其以後大抵各府縣ニ施行シテ居リマス、今僅ニ殘ル所ハ三府ト竝ニ一縣即チ三四府縣程郡ノ廢置ガ實施サレテ居ルニモ拘ラズ此郡制ヲ施行シテ居リマセヌ、ナレドモ是モ本年中心ハ少クトモ郡制ダケハ施行ノ準備ヲ爲シツ、アルノデゴザイマス、然ルニ今提出致シマシタル所ノ香川縣ノ郡廢置法律案ハ是ハ度々提出致シマシテモ遂ニマダ好結果ヲ得ヌデアリマス、此外ニ猶ホ廣島及岡山ト此三縣ダケハ此度衆議院ニ廢置法律案ヲ提出致シテアリマスルガ岡山縣ハマダ衆議院ノ議決ヲ經ナイ、廣島、香川ダケハ幸ヒ通過致シマシテコナラヘ回付ニナリマシタ、ドウカ早ク決議相成ランコトヲ希望致シマス、衆議院ニ於キマシテハ僅ニ新郡ノ名稱ヲ變ヘタルマデノコトデゴザイマシテ大體ハ原案ニ贊成ヲ致シタノデアリマス、此次ノ廣島ノ郡廢置法律案ハ今議題ニハナナテ居リマセヌガ別ニ說明ヲ致シマセヌカラ右様ニ御承知ヲ願ヒマス

○子爵谷干城君 チョット質問ガアリマス、此本員杯ハ從來此郡ノ廢合ノコトニ附イテハ種々考ヲ持ツテ居ル者デアリマスカラ段々ハ是ハ色々ノ關係ヨリシテカラニ人民ノ休戚ニ關スルモノデアラカシテハ一方ガ希望スレバ一方ガ不同意ヲ唱ヘル事柄ヲ随分ムヅカシイ事柄デアラウト考ヘマスガ此香川縣ノ方ノガハ少モサウ云フコトハナイノデゴザイマスカ

○政府委員(荒川邦藏君) 御答ヘ致シマス、香川縣ノ廢置ニ附キマシテハ第九讀會ト存ジマスガ衆議院ヘ政府ガ提出致シマシタル案ヲ委員會デ修正シ、ソレカラ又議場ニ於テ變ツタヤウデゴザイマス、ソレカラ其後本院ヘ回リマシテ本院デ大變ニ議論ガアツタ末兩院協議會ニテ會期満了ト云フコトニ相成ツタヤウニ考ヘマスガ其一番爭フ所ノ點ハ所謂大内、寒川、三木、山田及香川郡此五郡ノ分合ノ工合ニ依ツテ議論ガ岐レルノデアアル、畢竟其議論ノ岐レマシタノハ大内、寒川、三木ト云フモノヲ一郡トナシ山田、香川此二郡ヲ合シテ一郡トスルト云フコト、ソレト此今ノ政府案ト此二ノ方法ニ依ツテ大變ニ議論ガアツタノデゴザイマス、然ルニ此案ト申シマスルモノハ第一期ニ政府カラ提出致シマシタ所ニ於テハ此三郡合併論ヲ以テ初メ提出致シタ、衆議院ヘ出シマシタ、其時ニ衆議院ノ委員會デハ此今ノ案ノ如ク議決致シタ、其以來政府ノ案ハ引續イテ此案ヲ繼續シ來ツテ居リマスガ其故ハ昔大内、寒川ノ二郡ソレカラ三木山田ト云フ此二郡、此二郡ニ向ッテ一ノ郡奉行ト云フモノヲ置イテ一ノ郡奉行デ以テ此二郡ヲ治メ來ツタコトガ二百餘年ニ亘リマスガ此歴史ニ遡ッテ案ヲ提出スルノデアリマス、幸ヒ此度衆議院ニ於キマシテハ矢張此案ヲ議場ニ於キマシテモ委員會ニ於キマシテモ共ニ贊成ヲ

表シテ譯アリマス

○子爵谷干城君 是ハサウ云フ例ハ澤山アリマス、本員杯モ能ク心得テ居リマス、即チ高知縣ニ於テ三郡ト稱ヘテ土佐ニ吾川、長岡、之ヲ合セテ一人ノ郡奉行ト致シテアツタ、サウ云フコトノ理由デ以テ合併スレバ大分合併スル所モアラウト思フノデアリマスガ抑、此郡ト云フモノハ數百年夫々ノ歴史ヲ以テカラニ來テ居ル、總テノモノ土地、臺帳ノヤウナモノニモ皆明ニ明記シテアル、歷史上ニモ夫々記載シテアル、之ヲ變更スルニ附イテハ餘程其利害ノ上ニ於テ雙方ヲ照シ合ッテ隨分數百年ノ歴史ヲ毀ハシテモ之ヲ合併セネバナラヌト云フヤウナコトガアツテ始テ爲スベキモノト本員ハ考ヘル、若シ又經濟上ノ都合カ何カデ二郡ヲ合セテ一郡トスルト云フナラバ今即チ政府委員ノ說明セラレタル如ク二郡ニシテ一ノ郡長ヲ置イテモ宜シイ譯……

○議長(公尊近衛篤磨君) 谷子爵ハ御質問デスカ

○子爵谷干城君 質問デス、其理ヲ聽カケレバナラス、今變シテ仕舞ハヌナラヌト云フコトハドコニ必要ガアルカ、之ガ一箇條、ソレカラ次ニハ之ヲ合スルニ付テ人民ニハ更ニ反對ハナイト云フ所ヲ承リタイ

○政府委員(荒川邦藏君) 唯今ノ谷子爵ノ御質問ハ御質問ト云フヨリ寧ろ御議論ノヤウニ思ヒマス、最早此郡ノ廢置分合ヲスルト云フコトノ利害得失是非善惡ト云フモノハモウ遠ウニ通ッテ居ルコトデアラウト思フ、郡制施行ノ當時既ニ第一期第二期ノ衆議院デアリマシタカ……第九期議會ニ於テ衆議院ヨリ御迴送ニナッテ十分郡廢置論ハ盡キテ居ルト思フノデアリマスガソレハ郡ヲ澤山合シテ歴史ヲ破ッテハ惡イト云フ仰セデアリマスガ又一方デ云ヘバ郡制ヲ施行シテ郡ヲ自治體ニスルニ附イテハ小郡デハイケヌノデアアル、可ナリ實力ノアル郡ヲ拵ヘナケレバナラスト斯ウ云フナラバ否應ナシニ幾ラカ歴史ヲ崩シテモソレハ便宜ニ依ッテ合併スルヨリ仕方ガナイ、ソレガ惡ルイト云ヘバ郡制其物ガ惡ルイト言ハナケレバナラス、故ニ此點ニ就イテハ各諸君ノ御意見ニ在ルノデアリマスカラ政府ハ之ニ向ッテ直ニ御答辯ヲスル譯ニハ參リマセヌコト、思ヒマス、又第二ノ御質問デソレハ異存ハナイカト云フコトデアリマシタガソレハドノ縣ニ就イテ見テモ皆アルノデゴザイマス、殊ニ此香川縣ニ就キマシテハ先ニ御話シスルヤウニ郡ノ合併論ガ種々ニ別レト共ニ矢張其地方ノ人民ノソレハ贊成モアリ反對モアリ、又隨分東京ニ出テ居ルノデ、サウ云フ譯デアリマスカラ、此所ハ立法官が見ル所ア分合ヲスルヨリ仕方ガナイ、サウ云フコト、私ハ思フノデアリマス、ドウカ其處ハ御互ニ御研究ヲ願フヨリ仕方ガナイ

○子爵谷干城君 モウ一ツ、ソコデ即チ經濟ノ點ニ就イテ二郡ヲ合セヌトド

ウシテモ經濟ガ持テナイト斯ウ云フ御鑑定デアリマス、其處ヲ承リタイ

○政府委員(荒川邦藏君) ソレハ矢張程度論デアリマスカラ政府ハ……即チ政府ノ提出ノ精神ハ種々ノ實力ノアル郡ヲ造成スルノガ必要デアル、ソレモ地形ニ依リ人情ニ依ルコトデアリマスカラ、何處モカモ十万人人口ニシ或ハ八万人人口ニ平均スルト云フコトニハ爲シキレヌ、地形ト人情トニ依テ合シ得ルダケハ合スルト云フノガ此原案ノ精神デアアルノデゴザイマス、所ガソレニ就イテハマア勿論議論モ澤山アルノデアリマスガ、ソレハ到底顧ル違モナイ、又モウ一ツノ御質問デアリマシタガ何デゴザイマシタカ、マアソレダケ……

○子爵谷干城君 イエ、經濟ガ持テナイト云フ理窟デ合スルト云フノデスカ

○政府委員(荒川邦藏君) 是モ矢張程度論デ、經濟ト云フモノハ郡制施行ノ當時ハ餘計ナ郡費ガ入ルノデアリマセヌガ、本ト郡制ト云フモノハ府縣ノ力ニ依リ能ハザル小事件ハ郡デ取扱フガ郡制ノ精神デアリマス、故ニ是カラ將來ニ於キマシテハ郡ノ事業ハ益殖ヘルモノト見ナケレバナラス、又立法者ハ必ズ其方ヘ向ケナケレバナラス、先ニ至ッテ稍々力ノ堪ヘルモノト見テ合併スルノデアアル、ソコデ彼ノ郡、此郡ハドウト云フコトハ實地ノ問題デア、只原案者ハ相當ノ實力アルモノヲ以テ合併スルト云フニ過ギヌデアリマス、是ダケ……

○子爵谷干城君 モウ一ツアリマス

○政府委員(荒川邦藏君) モウ一ツハ何デゴザイマスカ

○子爵谷干城君 御尋ネスルコトガアルノデス

○政府委員(荒川邦藏君) ハイ

○子爵谷干城君 サウスルト政府即チ當局者ノ方針ニ於テハ前途段々入費ガ嵩ム、入費ガ嵩ムニ依ッテ即チ漸々ニ郡ハ合併シテ往クト云フノマア御説明デアッタヤウニ聽キマシタ、今日ハカッく經濟ハ持テ、往ケルガ段々先ニナレバ入費モ嵩張ッテ來ルヤウニナルカラシテ今日ヨリ合併スルト云フヤウナコトニマア承取レル、デ本員杯モ決シテ此三郡ヲ一トシテ一ノ郡役所ヲ置クト云フコトニハ反對ハナイ、是ハ決シテナイ、又我々ノ古郷ノ高知杯ノ今申シタ土佐長岡二郡ハ誠ニ小サイ郡デ、實ハ合併シテモ少モ差支ナイ、合併スル方ガ宜カラウド思フケレドモ、ソレハ本員杯ノ考ヘハ名稱ヲ變ヘズシテソレダケノ行政ヲ合併スル途ハナイカ、名稱ヲ殊ニ變ヘヌナラヌト云フコトハ誠ニ面白クナイト考ヘマス、名稱ヲ是非變ヘヌナラヌト云フ事柄ハ何所ニ在ルカ、合併スルコトニシテモ名稱ヲ變ヘズシテ合併ノ仕樣ハナイカト云フガ即チ本員ノ質問ノ趣意デアリマス

○政府委員(荒川邦藏君) 御答ヘ致シマスガ、谷子爵ノ御説ハ唯今ハ小郡ハ

何郡々ト斯ウ聯合シテアル、即チ各郡獨立デ居ナガラ聯合シテ一郡役所ヲ通シテ居ル、此儘デモ宜イデハナイカト云フ御説デアリマスガ、ソレハ畢竟我々カラ見ルト一時姑息ノ話デアッテ明治十二年ノ郡區編制ノ當時一時ノ急ヲ救フ間ニ合セデ愈々郡制ヲ立テ、往ケバ一郡獨立ト斯ウナラヌケレバ到底本當ノ制度ハ布ケナイと思フ、一郡々々デヤッテ居ッテハ餘程不便ヲ感ジマスカラソコデドウシテモ今ヨリ歴史ヲ成スヨリ外ハナイカラシテ否應ナシニ數郡ヲ合シテ一郡トスレバ即チ名稱モ改メナケレバナラヌ、ソゴデ種々取調マシテ様々ノ名稱ヲ附シテ居リマスノデアリマス、ソレヨリハ此方ガ宜イトカ種々ヤッテ見マシタガ恐ラク合併シナケレバ郡制ノ全キコトハ得ラレヌノデ、是ハ申スマデモナイ話デアリマス

○子爵谷干城君 所ガ合併シテモ其名ハ矢張舊ニ依ッテ存シテ居ル、盡キハシマセヌ、村デモ何デモ……

○政府委員(荒川邦藏君) ソレハ時勢ノ論デアリマスガソレ等ハ必ズ一時ハアルコトデアラウガ村ノ合併、郡ノ合併デモ當分ノ間少シ此所ダケデ二十年トカ三十年トカ持耐ヘテ居レバ公共團體トナルニ違ヒナイ、又立法者ハ必ズサウ向カハサナケレバナラヌ、併ナガラ今ノ御質問中或ハ是カラ以後益々合併シナケレバナラヌノカト云フコトデアリマスガ是ハ御尤モデアリマス、併シ此度限デ、餘程時勢ガ變ラナケレバ再ビ斯ウコトニハ起ラヌノデアリマス

○子爵谷干城君 サウスルト今政府デ御出シニナッテ居ルダケデモウ變ヘル積リハナイノデスカ

○政府委員(荒川邦藏君) 今合併スレバ是ギリデ一段落ヲ告ケルノデ此三縣ノ郡廢置法案ガ通過シマスレバ十數年來政府ガ地方行政ノコトニ力ヲ盡シタコトガ一段落ヲ告ゲテ先ヅ此所デ完結スル積リデゴザイマス、以來ノ所ハ制度ノ惡イ所ヲ改正スルトカ云フコトデ、先ヅ是ギリデ……

○子爵谷干城君 分リマシタ

○子爵曾我祐準君 質問ガアリマス郡ノ廢合ハモウ大概御見通シガ附イタモノト思ヒマスガ已ムヲ得ズ郡ノ廢合ヲスルト云フ理由ハ能ク分リマシタガ、縣制ヲ布クタメニ國ノ廢合ハアリマセヌカ

○政府委員(荒川邦藏君) ソレハ曾我子爵ノ御隨意ニ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 サウ云フ政府ニ御考ハナイノデスカ、縣制ヲ布クタメニ國ノ廢合ノ必要ハ御認メニナラヌノデスカ

○政府委員(荒川邦藏君) 昔ノ國ノ話デハナイノデ今ノ國ノコトデスカ、國ト云フノハ……

○子爵曾我祐準君 武藏ノ中ニ幾ツモ縣ガアルデハナイカ、縣ヲ一ツニスル

ナラ武藏ノ國ヲ幾ツニモ割ラナケレバナラヌコトガ出來ルデセウ……
○政府委員(荒川邦藏君) 是ハ御答辯ノ限ニアラズト思ヒマスガ行政上デハ一ツモ國ト云フモノハナイ、アレバ歴史上ニ稱ヘルガ行政上ニハ市町村ソレカラ郡ト云フコトハアルガ其他ノ名稱ヲ稱ヘル必要ハナイ、立法上ノ問題外ノコトデゴザイマスカラ是ギリ……

○子爵堀田正養君 チョット質問致シマス、先刻政府委員ヨリ色々御述ベニナリマシタガ本員ノ方ハ少シ遠クテ能ク聞エマセヌカッタカラ或ハ再ビ御答ニナルヤウナコトガアルカモ知レヌ、ソレハ會ノタメ申上ゲテ置キマス全體本案ノ説明書ヲ見ルト大層政府ノ説明書ニハ名前ヲ變ヘルニ附イテノ説明ヲ爲サレテ本案ヲ提出スル必要ノ理由ハ説明書ニ見エナイ、ソレデ先刻曾我君ノ御説ヲ伺ヒマスルト郡廢置法律案ハ即チ郡制施行ノ爲メニ必要デアルト云フコトヲ御述ベニナッタ様ニ考ヘマシタ、併シ今谷君ノ何カ各々見解ガドウトカ或ハ考ガ違フトカ云フ御話デアリマシタガ、一體合セルト云フコト、又名前ヲ一ニシナケレバナラヌト云フコトニ附イテハ郡制施行上ニドウ云フ必要ガアルト云フコトヲ能ク伺ヒタシ、又ハソレヲ合セナケレバドウシテモ郡制施行上、是々ノ差支ガアッテ出來ナイト政府ノ御認メニナッタ理由ヲハッキリ御説明ヲ請ヒタイ、ドウモソコガハッキリシナイヤウニ思ヒマス、説明書ヲ見ルト郡ノ廢置ヲスルニ附イテ名前ヲ附ケルニ何ト何ヲ合シテ上ノ字ト下ノ字ヲ取ッテ名前ヲ附ケルト云フ説明ダケデ何故分合スルガ必要ト云フコトハ是ニハ見エナイノデアリマスカラソレヲ一應伺ヒマス

○政府委員(松岡康毅君) 近イ所デ御答ヲ致シマス、此議案ノ分合ハ御承知ノ通何十ト云フモノガ法律案トシテ通過シテ居ルノデゴザイマス、サウシテ説明ノ仕方モ前々通何十ノ分モ同ジコトデモウ是ハ極末ニナリマシテ茲ヲ始テ説明ノ仕方ヲ變ル必要モナク前々御承知ノ通ノ譯デ郡ノ分合スルト云フコトハ別ニ理由ハナイノデゴザイマス、サウシテ郡ノ名ヲ變ルコトノ説明ハ今谷君ガ仰ッシヤル名ハ大事ト云フヤウナ御説モゴザイマスシ、又新規ニ免ニ角一ツノ名ヲ定メルノデアリマスカラ其郡ノ名ヲ置カナケレバナラヌト申ス譯デ前々ヨリ斯ウナッテ居リマス、是ニ限ッテ分合スルノ理由ヲ省イテ居ル譯デモ何デモナイノデゴザイマス、又合スレバナセ名ヲ一ニシナケレバナラヌカト云フ御尋デゴザイマスガ恰モ人間デ申セバ一ノ身體ガ今マデハ二人モ三人モ身體ガ別々ニナッテ名ガ別々ニナッテ居ッタガ今度身體ガ一ツニナッテ一ツノ働ヲスルヤウニナリマシタカラ一ツノ名ヲ附ケルノデ、ソレヨリ格別深イ意味ハナイノデゴザイマス

○子爵堀田正養君 ドウモ今内務次官ガ説明セラレマシタ所ハ甚ダ不親切ナ説明ト思ヒマス、成ル程此議場ニハ議會開設以來列ンデ居ル者モアリマス

レドモ昨年今年初テ議場ニ列シタ議員モアル、ソレニ向ッテ年々出ス議案デア
アルカラ説明シナイ説明書ヲ附サヌ、サウ云フ不親切ナ政府ノ御考デ昨日以
來内務次官ハ責任ヲ取ラナイ不親切ナ説明ヲシテ居ル、ソレハドウカ爾來御
注意アラシコトヲ希望イタセマス

〔子爵曾我祐準君「贊成」ト呼フ〕

○政府委員(松岡康毅君) 前々ハ出シタケレドモ今度出サナイトハ申サヌノ
デゴザイマス、何所カ御分リニナリマセヌカ、何モ變ッタコトハナイ、前々
ノ通法案ノ提出ノ仕方ヲ致シテ居リマス、別ニ冷淡ニナッタノデモ何デモナ
イノデゴザイマス

○子爵堀田正義君 即チ郡ヲ廢置分合スルコトノ説明ヲ願ヒタイト申スニッ
レハ度々ヤッタカラ別ニ必要ハナイ、是マデ既ニ六十モ出シタコトモアルト
云フヤウナ御言葉ガ見エテ居リマス……

〔政府委員松岡康毅君「六十トハ言ヒマセヌ」ト述フ〕

ソレハ前々ヨリノ議員ニハ一ツデモ二ツデモ同ジト仰シヤレバ分ルカ知ラヌ
ガ新規ニ出タ議員ニハ分ラヌ説明ト思フ、何モソシナニ時間ヲ惜マヌデ親切
ニ説明ヲ爲サルノガ政府委員ノ義務ト私ハ思ヒマス、故ニドウカ不親切デナ
ク鄭重ニ長々ト我々ニ分ル様ニ説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(松岡康毅君) 堀田子爵カラ何處ガ分ラヌト云フ御質問ノアツタ
ニ對シテ御答ヲシナカッタノデハゴザイマセヌ、此法案ノ名前ノ説明ガアツ
サウシテ分合ヲスル理由ガナイト斯ウ云フ御尋デゴザイマス……

〔子爵堀田正義君「ダカラ説明ヲ請ヒタイト云フノデス」ト述フ〕

何處ガ本案ニナイ此廉ガ伺ヒタイト云フ御質問ガアツテ……

〔伯爵萬里小路通房君「一般ノ疑ヂヤアリマセヌカ」ト述フ〕

唯書面ニ書イテアルノハ分合ノ理由ガナイ、名前バカリ書イテアルノハドウ
カト云フ御尋ニ私ハ聞取ツタ、ソレ故ニ御答ヲシタ

○子爵堀田正義君 本員ハソレヲ問フタバカリデハナイ、即チ之ヲ提出スル
理由ヲ能ク説明シテ呉レロ、此説明書ヲ見レバ名前ヲ變ヘルコトガ多ク認メ
テアルカラ愈々此郡廢置法案ヲ提出スルノハ例ヘバ郡制施行上是ダケノ必要
ガアル、従前ノ儘ニシテ置イテハ斯ウ云フ不都合ガアル故ニ之ヲ分合廢置シ
ナケレバナラヌ差支ヘルト云フ理由ヲ述ベテ下サイト云フノデアル、尤モ御
承知ナケレバ已ムヲ得ナイガ、御承知ナレバ願ヒタイ

○政府委員(荒川邦藏君) 此處カラ申上グマス、成ル程理由書ニハ廢置ノ區
域並名稱トアリマスガ、合併スルノハドウ云フ理由カト云ヒマスレバ即チ郡
制ヲ施行スル上ニ於テ有力ナル郡ヲ拵ヘルノガ必要デアル、ソレデ郡制ヲ施

行スレバ昔ト違ッテ一ノ自治團體ヲ爲スタメニ相當ノ資力ガナクテハナラナ
イ、故ニ其資力ニ堪ヘルダケノモノ及人情風俗並ニ地形ニ依ッテ郡ノ分合廢
置ヲシナケレバナラヌ、即チ郡制施行ノタメニハ相當ナ有力ナル郡ガ必要デ
アル、故ニ之ヲ出スト云フノデアリマス

○子爵小笠原壽長君 本員モチヨット質問致シマス、本員ノ質問ハムヅカシ
イコトデモ何デモアリマセヌガ、本案ノ第四項デアリマス「那珂郡及多度郡
ヲ廢シ其區域ヲ以テ仲多度郡ヲ置ク」ト斯ウゴザイマス、成ル程那珂郡多度
郡ヲ廢シテ仲多度郡ヲ置クト云フコトハ……仲多度ト云フ名ノ附イタ譯ハ能
ク分ルヤウデアリマスガ、ソレヲ衆議院ニ於キマシテ十市郡ト直シタヤウデ
ゴザイマス、是ハ一向從來ノ郡ト關係ノナイヤウナ名デゴザイマスガ、之ヲ
衆議院デ直シタ現由ガ政府デ御分リニナッテ居リマスナラ其直シタ理由ヲ御
述ヲ願ヒマス

○政府委員(荒川邦藏君) 此處カラ御答致シマス……

〔三浦安君「演壇デナサイ、聞エヌト又……」ト述フ〕

○政府委員(荒川邦藏君) 御答致シマス、衆議院デ仲多度郡ト云フ名ハドウ
モ誠ニ讀下シガ宜クナイ、殊ニ二字ト重ナルノハ面白クナイト云フ委員ノ説、
ソコデ色々説ガアリマシテ十市郡ト云フコトニ改リマシタ、十市ト云ヒマス
ノハ此多度郡ニ十市ケ池ト云フテ弘法大師ガ造ラレタ池ガアル、此池ヲ以テ
スレバモウ一ツノ郡ニモ通用シテ是ナラバ申分ハアルマイト云フコトデ此名
稱ヲ附シタノデス

○議長(公曾近衛篤磨君) 次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ
特別委員ノ選舉

○伯爵大原重朝君 是モ例ノ通議長ニ於テ選定アラシコトヲ望ミマス

〔贊成「或ハ「異議ナシ」ト呼フ者アリ」〕

○議長(公曾近衛篤磨君) 大原伯爵ノ動議ニハ贊成ノ聲ガ聞エタヤウデゴザ
イマスルカラ御異議ガナクバ……

〔異議ナシ「ト述フル者アリ」〕

然ラバサウ致シマス、廣島縣下郡廢置法律案、政府提出、衆議院送付第一讀
會、是モ通牒文ノミヲ朗讀致シマス

〔小原書記官朗讀〕

廣島縣下郡廢置法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

明治三十一年五月二十八日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿
廣島縣下郡廢置法律案

右

勅旨ヲ奉レ帝國議會ニ提出ス

明治三十一年五月十九日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文
內務大臣子爵芳川顯正

(「衆議院ノ修正」)

廣島縣備後國深津郡及安那郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ深安郡ヲ置ク
廣島縣備後國蘆田郡及品治郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ蘆品郡ヲ置ク

(「雙三」)

廣島縣備後國三次郡及三谿郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三次郡ヲ置ク

廣島縣備後國奴可郡三上郡及惠蘇郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ比婆郡ヲ置ク

(「安佐」)

廣島縣安藝國沼田郡及高宮郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ沼高郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治三十一年十月二日ヨリ施行ス

○田中芳男君 先刻政府委員カラシテ此次ノ廣島縣下ノ郡廢置法律案ニ附イテハ別ニ説明ヲ致サスト云フコトデアリマシタカラ大カタナサヲヌコト、思ヒマスガ併シ重大ナル質問ハ前ノ議デ大抵濟シタヤウニ考ヘマスルガ若シハ御説明ガゴザイマスルナラバ、承ッテ後デモ宜シウゴザイマスガ唯今小笠原子爵カラ御質問ガアリマシタ通衆議院ノ修正ニ附キマシテハ何ノ理由モ書イタモノガゴザイマセヌカラハハドウゾ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

(政府委員荒川邦藏君演壇ニ登ル)

○政府委員(荒川邦藏君) 唯今ノ御質問ニ答ヘマスガ衆議院デ之ヲ變ヘマシタノハ原案ノ三次郡ヲ雙三郡ト變ヘタノデゴザイマス、ソレニ附イテ御質問カ知レマセヌガソレハ三次郡及三谿郡ト三ノ字ガ二ツ跨ッテ居リマスルガ爲ニ雙三ト變ヘル方ガ宜イト云フ說デゴザイマシタ、ソレヲ讀下シテフタミ郡ト申シマス、ソレカラモウ一ツハ沼高郡ヲ安佐郡ト改メマシタノハ沼田郡及高宮郡ノ舊名ニ依ッテ各一字ヲ取り繕ッタケアルサウデゴザイマス、是ハ委員會デ勿論修正ヲシタノデゴザイマスガ是ハズット古イ時ノ名稱ヲ集メタモノデ其方ガ都合ガ宜イ、讀下シガ宜イト云フ譯デアリマス、是ダケ申シテ置キマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○子爵高野宗順君 此案ノ委員モ議長ニ於テ選定アラントウ望ミマス、是ハ前ノ案ト同様ノ委員ニ付託致シテ宜カラウト思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 前ノト同一委員ニ付託スルノデゴザイマスカ

○子爵高野宗順君 ハイ

○伯爵大原重朝君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 是モ前ノ委員ト同一委員ニ付託スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト述フル者アリ)

然ラバ其通ニ致シマス、登錄稅法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、是モ通牒文バカリ朗讀ヲ致シマス

(小原書記官朗讀)

登錄稅法中改正法律案

右本院提出案及送附候也

明治三十一年五月二十八日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

明治二十九年法律第二十七號登錄稅法中左ノ通改正追加ス

第五條第一項第二號地價設定ノ下「復舊共」ノ三字ヲ刪ル

同條同項九號「地價千分ノ十」ヲ「地價千分ノ一」ト改ム

同條同項十號十一號ヲ左ノ如ク改ム

十 地租條例第二十二條ノ地價ノ修正

十一 地價ノ復舊

(政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 此案ノタメニ政府ノ所見ヲ申述ベマス、登錄稅法中土地臺帳ニ關スル登錄稅ノ内往々煩細ニ涉リマシテ多少力田ノ勞ヲ阻ムノ嫌ガアルカラ其微細ノ分ニ至ッテハ或ハ削除或ハ修正ヲシタイト云フ衆議院ノ提出案デゴザイマス、依ッテ考ヘマスルノニ左シタル收入ノ上ニ於キマスル減額モ見マセヌ譯デアリマスルカラ政府ニ於キマシテハ同意ヲ表シマシタ譯デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○伯爵大原重朝君 是モ議長ノ選定ニ御任セ申シマス

〔贊成〕ト述フル者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長委託ノ勸議ニ贊成ノ聲ガ聞エマスルカラ御異議ガナクバサウ致シマス

〔異議ナシ〕ト述フル者アリ

御異議ナシト認メマス、次ニチヨット御相談スルコトガゴザイマスルガ明日ノ議事日程デアリマスルガ今朝報告ヲ致シマス議案、明治二十九年年度豫備金支出ノ件、明治二十九年年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算外支出ノ件、明治二十九年年度特別會計豫備金支出ノ件、明治二十九年年度特別會計歲入及資金ヲ以テ豫算超過支出ノ件、明治三十年法律第三十九號中追加法律案、是等ハ正則ノ通ノ日數ヲ經ズシテ明日ノ日程ニ上セタイト思ヒマスルガ御異議ガナクバ……

〔異議ナシ〕ト述フル者アリ

然ラバ其通ニ致シマス、先刻御委託ニナリマシタ軍機保護法案ノ特別委員ヲ指名致シマス、子爵谷干城君、子爵曾我祐準君、三好退藏君、男爵小澤武雄君、男爵赤松則良君、名村泰藏君、村田保君、高島信茂君、男爵有地品之允君、此諸君ヲ煩シマス、明日ノ議事日程ヲ報告致シマス

第一 船員法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第二 明治二十九年年度豫備金支出ノ件(政府提出案) 會 議

第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 會 議

第四 明治二十九年年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算外支出ノ件(政府提出案) 會 議

第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 會 議

第六 明治二十九年年度特別會計豫備金支出ノ件(政府提出案) 會 議

第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 會 議

第八 明治二十九年年度特別會計歲入及資金ヲ以テ豫算超過支出ノ件(政府提出案) 會 議

第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 會 議

第十 明治三十年法律第三十九號中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 會 議

今日ハ散會

午後零時九分散會

